

14 古代ギリシア

自然 山地が多くて平野が少なく、複雑な海岸線。
地中海性気候。オリーブ、オレンジ、ブドウなどの果樹栽培。

前2000頃
エーゲ文明
前1100頃
前800
前508
前431 ~ 404
前334
前30

<p>オリエント文明の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> エーゲ海周辺 青銅器文明 王権の強大な国家 海上貿易で繁栄 	<p>前2000— 〔前期〕 クレタ文明 小アジア系</p> <ul style="list-style-type: none"> エヴァンズの発掘 線文字A クレタ島 クノッソス宮殿 中心 <p>前1400—</p>	<p>ギリシア人第一波南下 (前2000~)</p> <p>← (アカイア人)</p> <p>前1600— 〔後期〕 ミケーネ文明</p> <p>ギリシア本土 ミケーネの城塞</p> <p>ギリシア人の文明 線文字B</p> <p>前1100—</p>	<p>トロヤ文明</p> <p>小アジア</p> <p>戦い シュリーマンの発掘</p> <p>⇔ トロヤ戦争</p>
<p>暗黒時代 移動→定着 鉄器の普及 階級の分化がすすむ〔 貴族, 平民, 奴隷〕</p>			
<p>多数のポリス形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①集住 (シノイクスモス) などにより。 ②アクロポリス, アゴラ (広場) などがあり, 城壁で防備を固める <p>貴族政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ①貴族が政権を独占して, 平民は無権利 ②貴族は 騎兵としてポリス防衛の主力をなす ③大土地所有者として経済力があつた <p>アテネ民主政の進展 (平民の参政権要求) ←</p> <p>民主政の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 前620 ドラコンの成文法 前594 調停者 ソロンの改革 (財産 政治) 前561 ペイシストラトスの僭主政治 前508 クレイステネスの改革 (陶片追放の制度, 部族制度の改革) 	<p>ギリシア人の同族意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘレネスとバルバロイ オリンピアの祭典, 競技会 デルフィの神託, 隣保同盟 <p>スパルタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スパルタ市民の征服型ポリス リュクリゴスの国制 ②ペリオイコイ 劣格市民 ③ヘロット 共有の農業奴隷 <p>植民活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地中海, 黒海沿岸に植民市の建設 [例] マッサリア, ネアポリス, ビザンティオン ⇨商工業の発達 ⇨富裕な平民の出現 ⇨貨幣経済の発達 ⇨平民の重装歩兵がポリス防衛の主力となる 		
<p>ペルシア戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> 前500 イオニア植民市のペルシアへの反乱をアテネが援助したのを機に始まる ★歴史的意義 第1回 前492 トラキア・マケドニアがペルシアに屈伏 第2回 前490 マラトンの戦い アテネの重装歩兵の活躍により撃退 第3回 前480 テルモピレーの戦い スパルタ軍全滅 前480 サラミスの海戦に勝利 テミстокレスの率いるアテネ海軍, こぎ手の無産市民の活躍。 前479 プラタイアの戦い アテネ, スパルタの連合軍が陸戦で勝利 <p>アテネの覇権 デロス同盟の盟主として</p> <ul style="list-style-type: none"> ペルシア戦争後, ペルシアの再攻に備えて結成された軍事同盟 	<p>アテネ民主政の完成 ★アテネ民主政の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 無産市民にも参政権が与えられ市民の平等が完成 ペリクレス時代 (前443 ~ 429) 将軍職として民主制を完成し, アテネの全盛時代 		<p>奴隷制社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生産活動は 奴隷に依存 ②市民の余暇……文化発達 政治と軍事に従事
<p>ペロポネソス戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> アテネ, スパルタの覇権争い ポリス社会衰退の契機 ・スパルタが勝利して覇権を確立 ・ペルシアのギリシア世界への干渉 <p>前371 レウクトラの戦い</p> <p>スパルタに対し テーベが勝利して覇権を確立</p> <p>マケドニア王国の台頭 (北方のギリシア人の王政国家)</p> <p>前338 カイロネアの戦い 国王 フィリッポス2世</p> <ul style="list-style-type: none"> アテネの デモステネスが反マケドニア勢力を結集 アテネ, テーベ連合軍がマケドニアに敗北 <p>前337 コリント同盟 (ヘラス同盟)の結成 盟主マケドニアが覇権を確立</p>	<p>アテネ……デロス同盟の盟主</p> <p>スパルタ……ペロポネソス同盟の盟主</p> <p>衆愚政治への変容 直接民主政の墮落した形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマゴゴス (煽動政治家)が国政をあやつる <p>ポリス社会の衰退 長年の戦乱による疲弊</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農業の衰退, 大土地所有制の発達 ②市民間に貧富の差が拡大——中産市民の没落 ③傭兵への依存——軍事力の弱体化 		
<p>前336 アレクサンドロス大王の帝国</p> <ul style="list-style-type: none"> 前333 イッソスの戦い ペルシア王 ダレイオス3世の軍を撃破 前332 エジプトを征服 ファラオに即位 アレクサンドリア市建設 前331 アルベラの戦い ペルシア軍を決定的に撃破 前334 東方遠征に出発 オリエントを征服支配 前330 アケメネス朝ペルシアを滅ぼす 更にイラン高原・中央アジア・西北インドを征服 前323 バビロンに凱旋。ここで死去 <p>ヘレニズム三国の分立 ⇔ディアドコイ戦争 (後継者争い) 前320 ~ 275</p> <p>前301 イプソスの戦い ヘレニズム世界の3分裂が決定的となる</p> <p>(1) プトレマイオス朝エジプト王国</p> <ul style="list-style-type: none"> 前304 首都 アレクサンドリア ヘレニズム世界の中心として繁栄 前30 ローマに滅ぼされる <p>(2) セレウコス朝シリア王国</p> <ul style="list-style-type: none"> 前312 当初最大の領土, のち縮小 パルティア, バクトリア 独立 前63 ローマに滅ぼされる <p>(3) マケドニア王国</p> <ul style="list-style-type: none"> 前306 アンティゴノスが創始 ギリシア本土を支配 前168 ローマに滅ぼされる <p>★統治策の特徴</p> <p>★ヘレニズム文化 東西文化の融合</p> <p>国際的共通語 コイネ</p>			